

武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備委員会 第6回 本部会

令和8年1月28日(水)

午後5時30分～7時45分

於 サウスピア 武蔵浦和コミュニティセンター第8・9集会室

次 第

教育長挨拶

【議事】

- |   |                                      |         |
|---|--------------------------------------|---------|
| 1 | 意見交換（校名の絞り込み）                        | p. 3- 8 |
| 2 | 各ワーキンググループからの報告                      |         |
|   | （1）学校事務運営より                          |         |
|   | （内谷中学校校舎改修に関する見学会について）               | p. 9-10 |
|   | （2）通学区域より（通学区域等について）                 | p.11-16 |
|   | （3）保健室運営より（活動報告及び今後の見通しについて）         | p.17-19 |
|   | （4）学校生活より                            |         |
|   | （学校生活のきまりについて、SoIaるーむ・さわやか相談室について）   | p.20-22 |
|   | （5）校名・移行イベントより（レガシースペースについて）         | p.23-24 |
| 3 | 学識経験者より                              |         |
| 4 | その他                                  |         |
|   | （1）令和8・9年度の開校準備委員会組織と参加者構成スケジュールについて | p.25    |

# 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備委員会 本部会

## 第 6 回

令和 8 年 1 月 2 8 日

教育委員会事務局 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備室

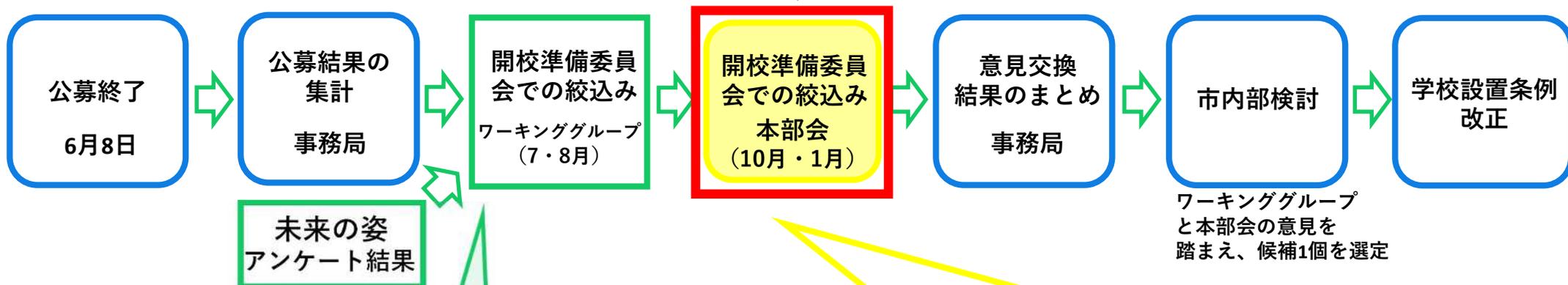
- 1 意見交換（校名の絞り込み）
- 2 各ワーキンググループからの報告
  - （1）学校事務運営より  
（内谷中学校校舎改修に関する見学会について）
  - （2）通学区域より（通学区域等について）
  - （3）保健室運営より（活動報告及び今後の見通しについて）
  - （4）学校生活より  
（学校生活のきまりについて、S o l a るーむ・さわやか相談室について）
  - （5）校名・移行イベントより（レガシースペースについて）
- 3 その他
  - （1）令和8・9年度の開校準備委員会組織と参加者構成スケジュールについて

# 1. 意見交換（校名の絞り込み）

## ■ 応募状況

< 応募件数 > 計 . . . . . **1,353件**（うち在校生1,107件）

## ■ 校名選定の現状とその後の校名検討の流れ



**(7月) 第6回 ワーキンググループ**

- ・ 募集した校名アイデアをもとに各グループで10個の校名案を作成

↓

- ① 3グループの案を比較
- ② 校名・移行WG全体の方向性を共有

**(8月) 第7回 ワーキンググループ**

- ・ 第6回の意見交換の結果をまとめた資料をもとに

↓

- ① 10個程度の校名案に絞り込み
- ② 選定時の思いを共有

**(1月) 第6回本国会**

- ・ ワーキンググループの話合いまとめ資料をもとに

- ① 5個程度の校名案に絞り込み
- ② 選定した思いを共有

# 1. 意見交換（校名の絞り込み）

## ■ 校名アイデアの絞り込み結果

よいと思う度合い

↑  
高

① 武蔵浦和	② 武蔵うらわ	
③ 武蔵浦和学園	④ 武蔵浦和 みらい	
⑤ さい もり 彩の杜	⑥ 武蔵みなみ	⑦ 武蔵未来
⑧ 武蔵みらい	⑨ さいたま南	⑩ むさし浦和

# 1. 意見交換（校名の絞り込み）

## 校名・移行イベントWGにおける絞り込みに関する意見

- ①「義務教育学校」と合わせたとき、漢字が長く続かないよう、ひらがなが入った方が響きがやわらかくなるのではないか。  
⇔一方「将来にわたって愛着が持てる」という選定基準から考えると、世間に通用している表記を用いるのがよいのではないか。
- ②表の通り、「武蔵浦和」という名前を大事にしたいという意見が多かった。

## 校名・移行イベントWGにおける個別の校名案ごとの選定理由等

\*番号は前ページの枠に対応

該当校名案	選定理由
①武蔵浦和 ②武蔵うらわ ③武蔵浦和学園 ④武蔵浦和みらい ⑩むさし浦和	「武蔵浦和」は三校の児童生徒が利用する駅名であるため、三校を平等に扱うイメージがあり、「愛着が持てる」という選定基準にも合うのではないか。
③武蔵浦和学園	「学園」は「学びの園」として、「みんなで育っていく場所」というアピールになる。報道等で仮称として使われているケースもあり、「愛着が持てる」という選定基準にも合うのではないか。
④武蔵浦和みらい ⑦武蔵未来 ⑧武蔵みらい	子どもたちの「未来の姿」を考える上で、プラスのイメージを持つ「未来」を取り入れるのはどうか。
⑤彩の杜	「三つの校舎が一つの森になる」という応募理由のストーリー性がよいと思う。
⑥武蔵みなみ ⑨さいたま南	さいたま市の南側かつ南区にあるということから、地域性のある名前として「南」を取り入れるのもよいと思う。

# 1. 意見交換（校名の絞り込み）

## 校名アイデア絞り込み時に参照していただきたい事項

### ① 募集の際に示した選定基準に即した選定を行う。

#### 選定基準

- ①地域性があり将来にわたって愛着が持てること。
- ②さいたま市における、既存の学校名と同一の名称でないこと。

### ② 本部会で意見交換した「未来の姿」を拠り所とする。

#### 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の「未来の姿」（抜粋）

##### 【地域の核（拠点）として】

- ・親しみと愛着で地域から愛され、誰にとっても生涯の学びの拠点となる学校
- ・学校を中心とした絆が地域の力を高め、人々に安心と生きがいを与える学校
- ・地域から学び、地域も学ぶ学校 など

### ③（参考）校名・移行ワーキンググループであがった校名に関する意見抜粋

- ・新しさ、未来が感じられ、親しみも感じられるものがよい。
- ・武蔵浦和地区の発展し続けるようなイメージが浮かぶものがよいのではないか。
- ・大きく開けていく、あるいは伸びていくようなイメージの校名がよいのではないか。
- ・子どもたちにも分かりやすい、覚えやすい。
- ・発音しやすい、呼びやすい、書きやすい、読みやすく、親しみがもてる。
- ・〇〇第一といったナンバースクールは避けた方がよい。

# 1. 意見交換（校名の絞り込み）

## 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の「未来の姿」

- ・9年間の一貫した教育活動を通して、子どもが中心となり、すくすく伸びやかに育つ学校
- ・9年間ならではのたくさんの繋がりの中で、多様な価値観をもつ一人ひとりの可能性が伸び、広がる学校
- ・多様な人材が交流し、地域から愛され、繋がりあふれる地域の拠点となる学校



### ■ 子ども（児童生徒）が学ぶ場として

- 9学年の幅広い交流の機会を通して一人ひとりの可能性を広げられる学校
- 9年間を見通し、小中の繋がりを意識した系統立てられたカリキュラムが編成されている学校
- 校舎内・校舎間(縦の繋がり・横の繋がり)から生まれる多くの交流を通じ楽しく勉強でき居心地のよい学校
- 各校の良さを残しつつ、9年間の縦の繋がりを通じて健やかにのびのびと安心して過ごせる学校

### ■ 地域の核（拠点）として

- 地域から学び、地域も学ぶ学校 子どもたちと地域との活発な交流で、9年間をわくわく主体的に学べる学校
- 学校を中心にした絆が地域の力を高め、人々に安心と生きがいを与える学校
- 笑顔とあいさつで地域の交流が豊かになり、皆で助け合う気持ちが高まる安全・安心な学校
- 親しみと愛着で地域から愛され、誰にとっても生涯の学びの拠点となる学校

### ■ 子ども（児童生徒）が学校生活を営む場として

- 多様な考えや価値観を尊重し、活かし合うことのできる学校
- 教職員の目が行き渡り、子どもたちに寄り添う学校
- 安全に登下校ができ、学校内においても安全に生活できる学校
- 日頃から1～9年生が協力し合って生活し、多くの交流の中で絆を深められる学校
- 校舎間の交流を通じ互助的な精神を育成する学校

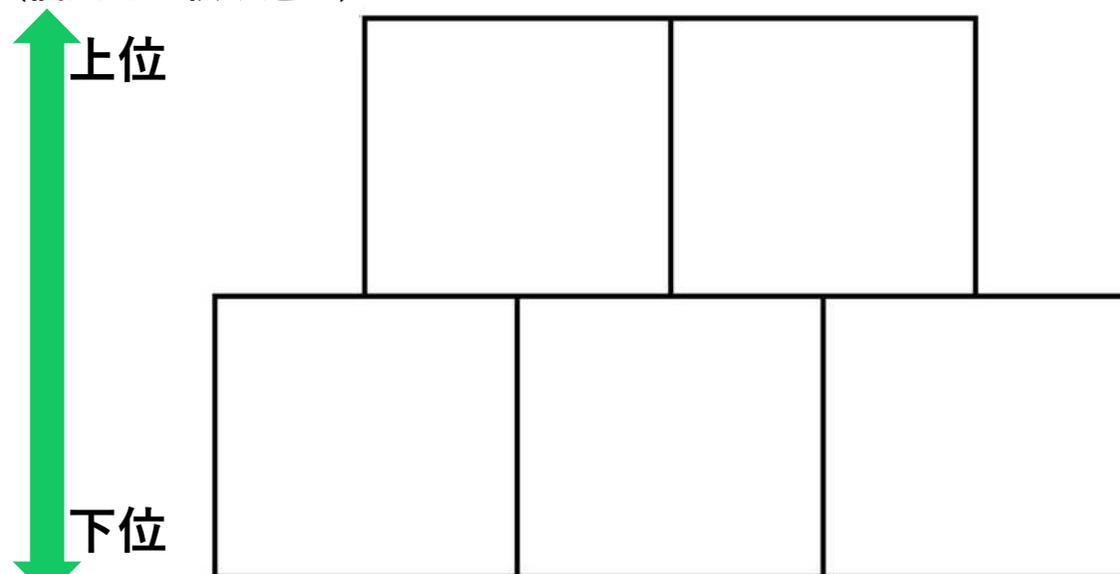
### ■ 教職員の役割と働く場として

- 小・中・校舎間の垣根を越えたそれぞれの教職員の交流による新たな連携と進化を生む学校
- 子どもに信頼され、適切に関われる教職員集団である学校
- 9年間の成長を教員・地域・保護者のチームとして見守る学校

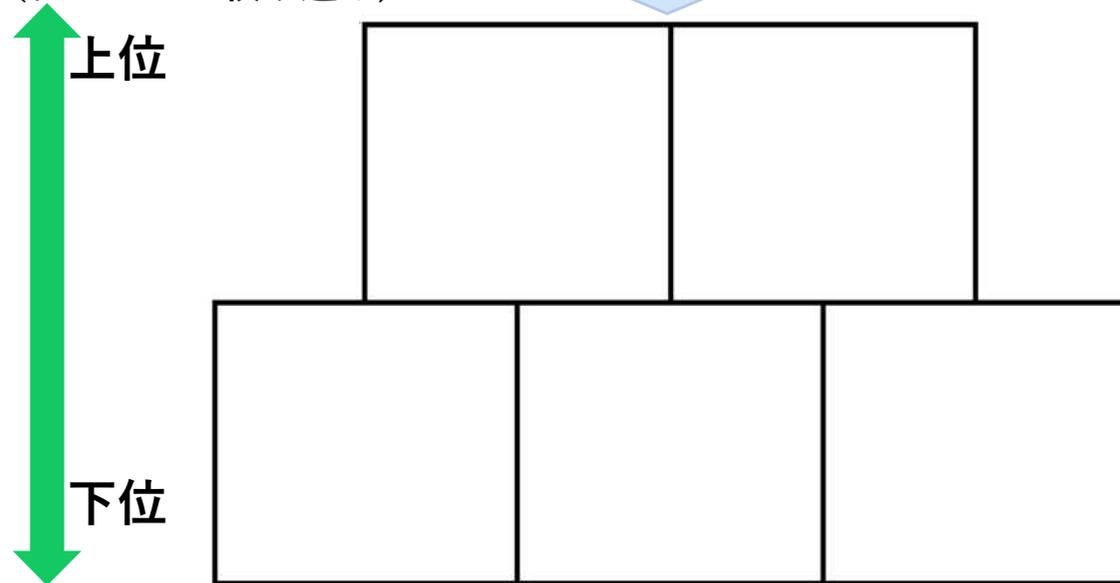
# 1. 意見交換（校名の絞り込み）

## 意見交換

（個人での絞り込み） ※ WGの絞り込み結果を参考に5個の校名案を作成する



（グループの絞り込み）



- ・上の段にあるほど、「とくによいと考えている」アイデアとして記入します。
- ・同じくらいよいと考えているものは、同じ段に記入できる図です（細かい順位を決める必要はありません）。
- ・5マスに収まるように作成をお願いします。

※ 選定理由などのメモにお使いください



## 2. (1) 学校事務運営より（内谷中学校校舎改修に関する見学会について）

### チラシ案（児童向け）

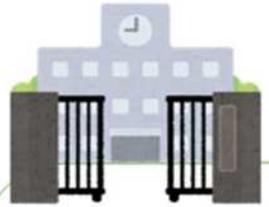
**みなさんの<sup>こえ</sup>を  
き聞かせてください！**

○月○日 ○曜日



### 内谷中学校見学会のおしらせ

（うちやちゅうがっこうけんがくかい）



**内谷中学校は、小学校1～4年生が通う学校にかわります。**

**小学校1～4年生がつかいやすい学校にするために、今小学生のみなさんに内谷中学校を見学してもらい、よりよい学校にするための声をもらいたいと思います。**

**参加したい児童のみなさんは、このチラシの裏面をお家の人に見せて、申し込んでください。**

### チラシ案（保護者向け）

沼影小学校児童保護者の皆様へ

#### 内谷中学校校舎改修に係る校舎見学会の実施について

- 内谷校舎の改修について**  
内谷中学校は、武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の内谷校舎として、小学1～4年生が使用する予定です。そのため、中学生と小学1～4年生の体格差や教育課程の違いを考慮した、改修工事を行うこととなっています。
- 校舎見学会の趣旨・目的について**  
児童の皆さんが現在の内谷中学校の施設見学を行っていただき、児童の視点による改修へのご意見、ご要望等を改修内容に反映させることを目的としています。
- 校舎見学会の日時等について**  
令和8年○月○日（○曜日）○○：○○～（1時間程度）  
※必ず保護者同伴でご参加ください。
- 校舎見学会の内容について**  
・設定したルートに沿って校舎内（昇降口、普通教室、特別教室、トイレ、廊下、階段など）を見学します。  
・「直した方がいいと思ったこと」「あるといいなと思ったこと」などをふり返りシートに記入の上、意見を発表します。
- 校舎見学会の申込について**  
右のQRコードを読み込んでいただき、申込みフォームからお申し込みください。  
申込受付期間：  
○月○日から○月○日まで

5 校舎見学会の申込について

右のQRコードを読み込んでいただき、申込みフォームからお申し込みください。

申込受付期間：  
○月○日から○月○日まで

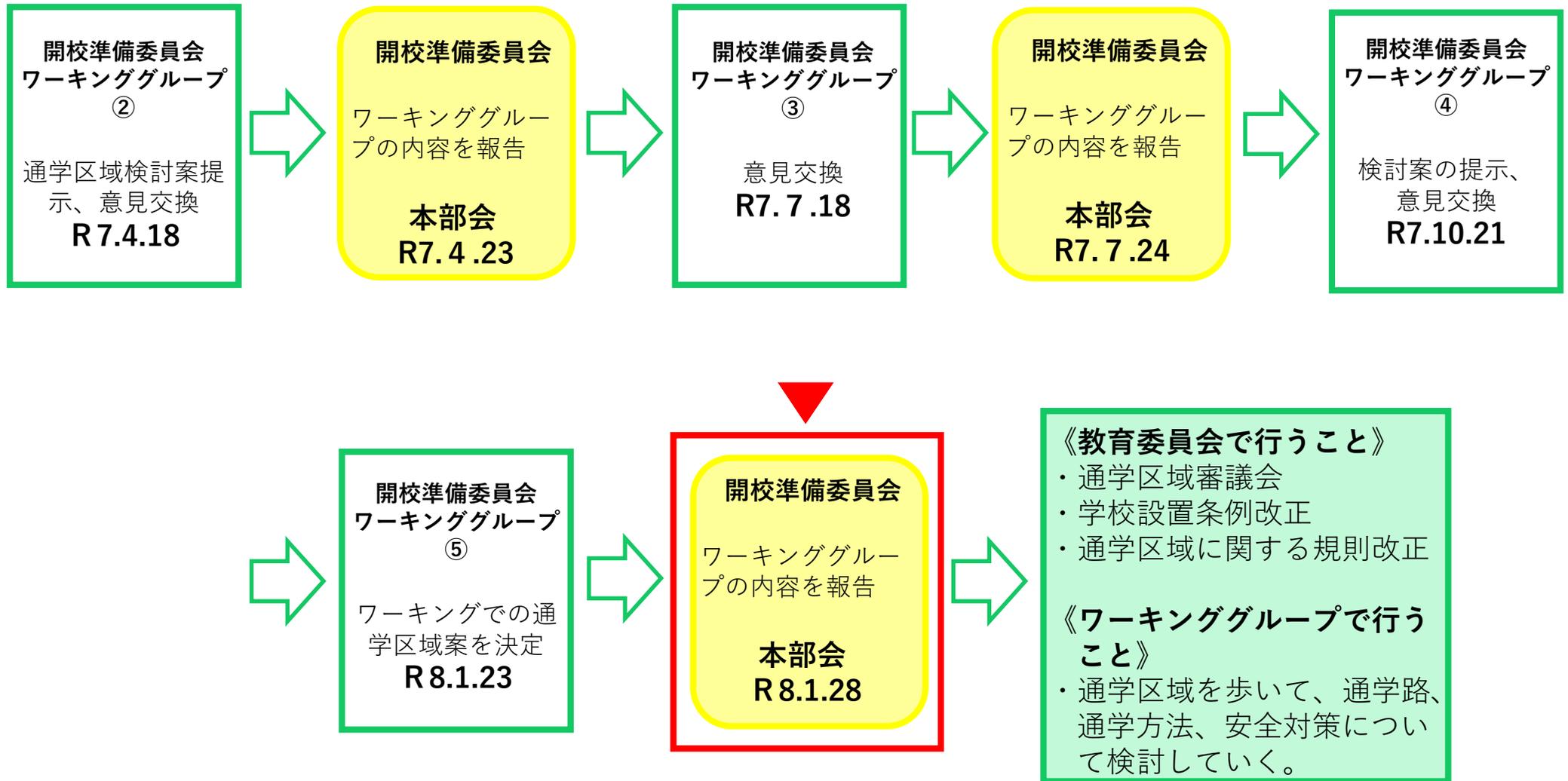
内谷中学校改修に係る校舎見学会



- 問合せ先**  
教育委員会事務局 学校施設整備課 整備係  
〔TEL〕048-829-1642（土・日・祝日を除く 8:30～17:15）  
〔E-mail〕gakko-shisetsu-seibi@city.saitama.lg.jp

## 2. (2) 通学区域より (通学区域等について)

### ■ スケジュール



## 2. (2) 通学区域より（通学区域等について）

### 【ワーキンググループの概要】

■ 実施日：1月23日（第5回）

これまで4回にわたるワーキンググループにおいて、様々な立場から多くの貴重な御意見をいただき、それらを踏まえながら、本義務教育学校の通学区域案について丁寧に熟議を重ねた。また、本部会においても2回報告し、意見交換を行い、その内容をワーキンググループへ共有し、さらなる議論を重ねた。第5回ワーキンググループにおいては、これまでのワーキンググループ、及び本部会での意見交換の結果を改めて整理・共有し、本義務教育学校の通学区域について、通学区域WG案（令和8年1月現在）として本部会へ報告することとした（P14詳細図参照）。

### ■ 第1回～第4回の通学区域WG及び本部会の意見交換の概要

#### ■ C2・D2エリアについて

- ・ C1・C2エリア、E1・E2エリアについて、本義務教育学校の特定地域とする可能性について調査研究を行ってほしいという本部会での意見交換を踏まえ、C2エリアについて小学校1年生から本義務教育学校を選択可能な特定地域とする案とした。
- ・ D2について、本義務教育学校へ小学校1年生から通学可能としてほしいという要望が地域から寄せられているという意見交換を踏まえ、特定地域とする案とした。

#### ■ その他通学区域について

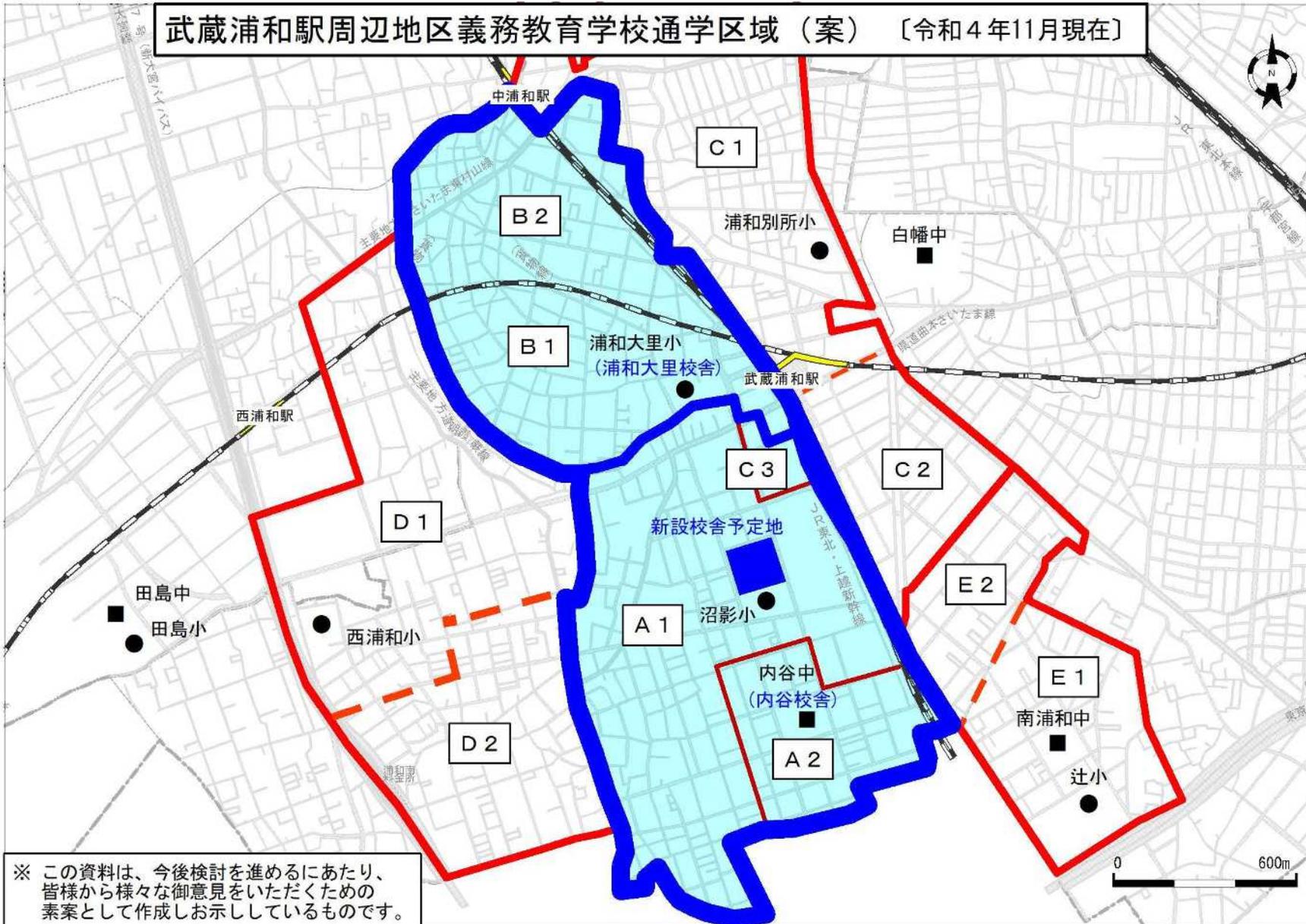
- ・ 沼影1丁目の一部について、田島通りを横断して内谷校舎へ通学することは安全上不安があるという意見や、沼影1丁目全体が浦和大里校舎へ通えないかという意見を踏まえ、浦和大里校舎、内谷校舎への通学については、田島通りを区切りとする案とした。

#### ■ その他、通学方法等

- ・ 通学距離が長くなる地域もあることから、スクールバスの運行を検討してもよいのではないかという意見があった一方、一部の児童のみが対象となるため反対するという意見もあった。通学方法等の導入については引き続き、通学区域ワーキンググループにおいて調査研究を続けることとしている。
- ・ 各校舎の保有教室数が不足のないよう、特定地域等の設定をしてほしいという意見があった。

## 2. (2) 通学区域より (通学区域等について)

### 令和4年11月にお示しした通学区域案 (以下、「当初案」)



## 2. (2) 通学区域より (通学区域等について)

### 通学区域WGの通学区域案 (以下、「WG案」)



## 2. (2) 通学区域より (通学区域等について)

### 当初案とWG案について

通学区域WG、本部会での意見交換を踏まえ、本義務教育学校の通学区域についてWG案を以下のとおりまとめました。

- ① 沼影1丁目の一部(田島通りより北側)について大里校舎の通学区域にするWG案とすること。(A3エリア)
- ② C2エリア(予定とする指定校:浦和別所小・白幡中)及びD2エリア(予定とする指定校:西浦和小・田島中)について義務教育学校を小学校1年生から選択できる特定地域とするWG案とすること。

### 義務教育学校開校前後の各エリアの通学区域について

#### 現在

	小学校	中学校
A1	沼影小	内谷中
A2※1	沼影小	内谷中
A3	沼影小	内谷中
B1	浦和大里小	内谷中 (白幡中)※2
B2	浦和大里小	白幡中
C1	浦和別所小	白幡中
C2	浦和別所小	内谷中
C3	浦和別所小 (沼影小)※2	内谷中
D1	西浦和小	田島中
D2	西浦和小	内谷中 (田島中)※2
E1	辻小	南浦和中
E2	辻小	内谷中 (南浦和中)※2

#### 開校後 (WG案)

	義務1年～4年	義務5年～9年
A1	内谷校舎	新設沼影校舎
A2		
C3		
A3	浦和大里校舎	
B1		
B2		

	小1～小6	中1～中3
C1	浦和別所小	白幡中
C2	浦和別所小 (内谷校舎)※2 ※3	白幡中 (新設沼影校舎)※2 ※3
D1	西浦和小	田島中
D2	西浦和小 (内谷校舎)※2 ※3	田島中 (新設沼影校舎)※2 ※3
E1	辻小	南浦和中
E2	辻小	南浦和中



- ※1 A2の指定校は、辻小学校・沼影小学校です。  
 ※2 ( )内は、特定地域を表します。  
 ※3 義務教育学校に就学する場合は小学5年生(義務5年)から新設沼影校舎となります。

## 2. (2) 通学区域より (通学区域等について)

### ■ 開校年度の配慮事項について

義務教育学校開校により就学先が変更になる次のエリア児童・生徒については、開校年度のみ以下の配慮を行うこととする案としています。

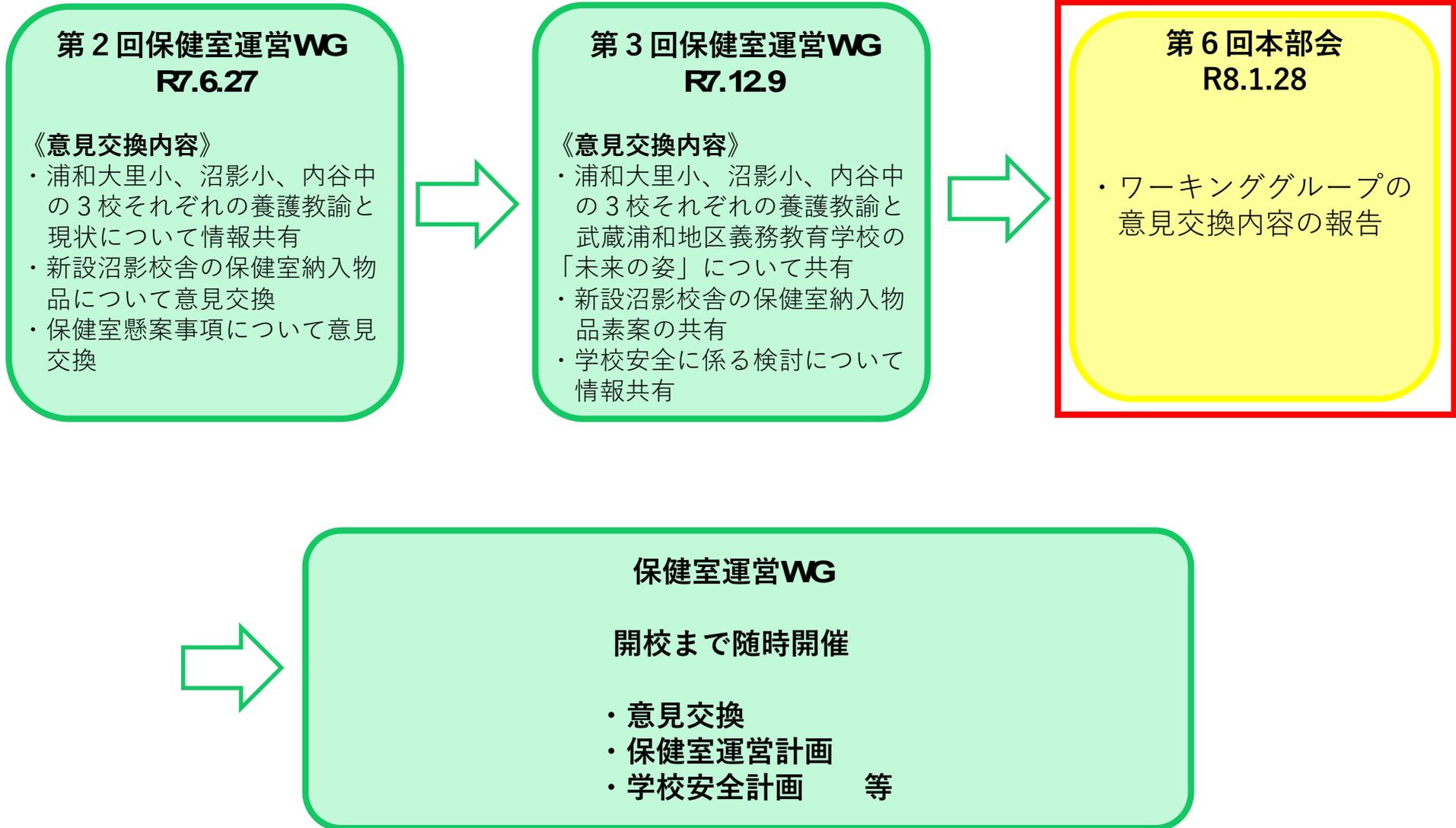
新しい通学区域に基づき、指定校への転校が原則ですが、希望がある場合は、開校前年度の在籍校に引き続き在籍することができます。

エリア	開校前年度在籍校	開校年度就学可能校	
		①指定校	②許可校
A 3	沼影小	義務教育学校 (浦和大里校舎)	義務教育学校 (内谷校舎)
B 1・B 2	白幡中	義務教育学校 (新設沼影校舎)	白幡中
C 3	浦和別所小	義務教育学校 (内谷校舎)	浦和別所小
E 2	内谷中	南浦和中	義務教育学校 (新設沼影校舎)

※C3エリアの、開校前年度に浦和別所小学校を卒業する児童については、原則として指定校である義務教育学校へ進学することになりますが、希望がある場合は白幡中学校を選択できるようにすることを検討しています。

## 2. (3) 保健室運営より (活動報告及び今後の見通しについて)

### ■ スケジュール



## 2. (3) 保健室運営より（活動報告及び今後の見通しについて）

### ■ 第2回ワーキンググループの主な内容及び意見交換内容（実施日：令和7年6月27日）

#### 1 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の概要説明

各学校養護教諭と武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の施設概要等を共有した。

#### 2 新設沼影校舎の保健室納入物品について

①以下を参考に事務局で作成した新設沼影校舎の保健室納入物品素案を提示した。

- ・「保健室の備品等について」（文部科学省通知）
- ・大和田小学校（令和8年度開校）に納入する保健室物品

②第3回保健室運営WGまでに参加者から意見を募り、修正案を作成する。

#### 3 意見交換内容

①保健室納入物品については、新設沼影校舎だけでなく、1年生～4年生が通学する内谷校舎について、体の大きさが変わることによって規格の大小が異なる。物品については、他のWGと情報共有を行いながら対応していく必要がある。

②保健室運営等については学校医とも連携していく必要があるため、学校医の委嘱時期等を配慮する必要がある。学校の年間行事の状況を踏まえる必要があるため、カリキュラムWG等とも状況を共有しながら委嘱時期を定めていく。

## 2. (3) 保健室運営より (活動報告及び今後の見通しについて)

### 第3回ワーキンググループの主な内容及び意見交換内容 (実施日: 令和7年12月9日)

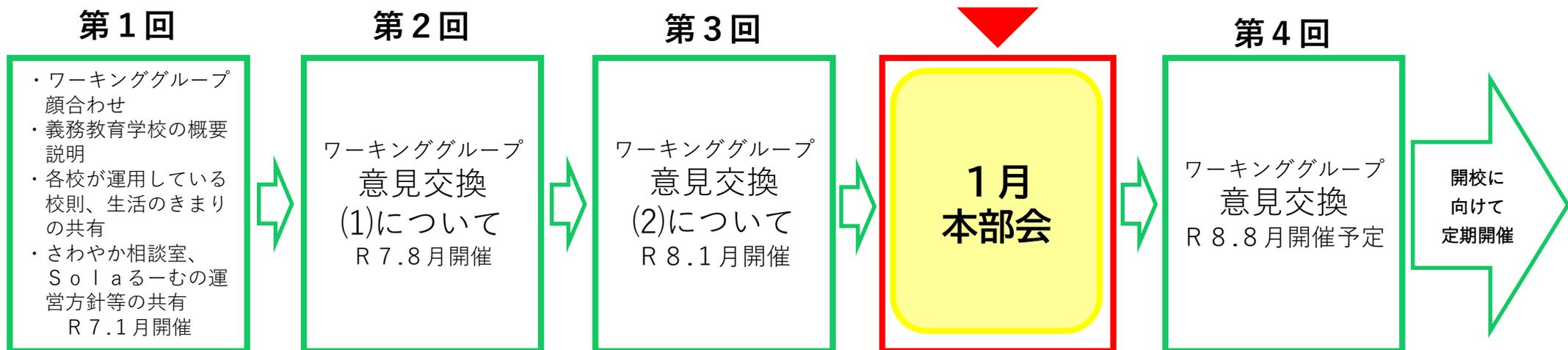
- 1 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の「未来の姿」について  
保健室運営WGについても「未来の姿」を拠り所として意見交換していくと説明した。
- 2 新設沼影校舎の保健室納入物品素案について  
各学校の修正案を元に、事務局にて作成した保健室納入物品素案について共有した。  
(素案の内容)
  - ・保健室消耗品備品、健診用消耗品、熱中症対策用品等
- 3 学校安全に係る検討について
  - (1) 危機管理対応マニュアル…校舎それぞれで構造や避難経路、教職員の配置などが異なるため、校舎ごとに作成する予定。
  - (2) AEDの配置…他の市立学校と同様に、三校舎内それぞれに1台ずつ配置予定。  
\*現在の内谷中正門に配置しているAEDは新設沼影校舎へ移設予定。
  - (3) 学校警備員の配置…それぞれの校舎に警備員を1人ずつ配置する予定。
- 4 意見交換内容
  - ・この素案を元に、児童生徒数やクラス数、他WGでの意見交換等を踏まえながら、必要物品について今後も適宜、本WGで意見交換をしていく必要がある。
  - ・保健室運営計画、学校安全計画等について、適切な時期に今後の保健室運営WGで意見交換していく必要がある。

## 2. (4) 学校生活より (学校生活のきまりについて、S o l a るーむ・さわやか相談室について)

### 令和7年度学校生活ワーキンググループにおける意見交換の内容

- (1) 関係小学校や中学校の校則・生活のきまりについて情報共有
- (2) 他自治体の義務教育学校における校則・生活のきまりについての情報共有
- (3) 学校生活における安全面に関するきまりについての意見交換
- (4) 学校のさわやか相談室・S o l a るーむについて情報共有
- (5) 第1回WGからの懸案事項及び義務教育学校におけるさわやか相談室及びS o l a るーむの在り方について意見交換

### 学校生活ワーキンググループ実施状況と今後の見通しについて



## 2. (4) 学校生活より (学校生活のきまりについて、S o l aるーむ・さわやか相談室について)

### WG活動内容 (学校生活のきまりについて)

#### 第1回WG (令和7年1月14日開催)

- ・義務教育学校の概要について
- ・生活のきまりについて



概要や学校生活について、事務局からの説明が主な内容であった。参加者から多くの質問があり、今後のWGの意見交換の材料を得ることができた。

#### 第2回WG (令和7年8月28日開催)

- ・各国や他自治体の制服の状況について
- ・生活のきまりについてグループ協議



学校の校則・生活のきまりについて、奈良県の王寺南義務教育学校とさいたま市の小学校、中学校の校則・生活のきまりについてどのような違いがあるかを視点に、グループ協議を実施した。

### 参加者からの主な御意見等

- ・生活のきまりが細かい方が指導しやすいのではないか。
- ・校則について、王寺南義務教育学校はこと細かに書かれており、さいたま市の提示された学校は、シンプルで、児童生徒の主体性を育てる意図が見える。
- ・王寺南義務教育学校の生活のきまりについては、児童生徒にこうなってほしい、成長してほしいという思いが書いてあるのでよいと思った。

### 今後のワーキンググループの活動内容について

第1回、第2回のWGで、各国の学校の制服導入、着こなし等の実態や他校、他自治体の校則・生活のきまりを知ることで、参加者の校則・生活のきまりに対する考えがアップグレードされてきた。

今後もこのような機会を提供するとともに、有識者の助言を参考にし、開校に向け、発達段階に応じたルールメイキングの仕組み等について協議していく予定。

## 2. (4) 学校生活より (学校生活のきまりについて、S o l aる一む・さわやか相談室について)

### WG活動内容 (S o l aる一む (※) ・さわやか相談室について)

(※) 登校しているものの、あるいは、登校できるようになったものの、教室に入れない児童生徒にとって、安全・安心な環境と学習機会の保障を目的として導入された居場所。

#### 第1回WG (令和7年1月14日開催)

- ・さわやか相談室について
- ・S o l aる一む運営に係る指針について



概要やさわやか相談室・S o l aる一むについて、事務局からの説明が主な内容であった。今後のWGで、意見交換をするための内容を提供することができた。

#### 第2回WG (令和7年8月28日開催)

- ・さわやか相談室・S o l aる一むの事例
- ・現状の課題等について協議



さわやか相談室やS o l aる一むの運営について、さいたま市の小・中学校の現状と、成功事例について共有しながら、第1回WGで挙げた課題等を中心に、意見交換を実施した。

### 参加者からの主な御意見等

- ・大人数が苦手な子どももいるので、S o l aる一むに例えば20人以上の児童が集まった際の「居場所づくり」というのも考える必要がある。
- ・自分の子がS o l aる一むを利用しており、「居場所づくり」としてありがたい。

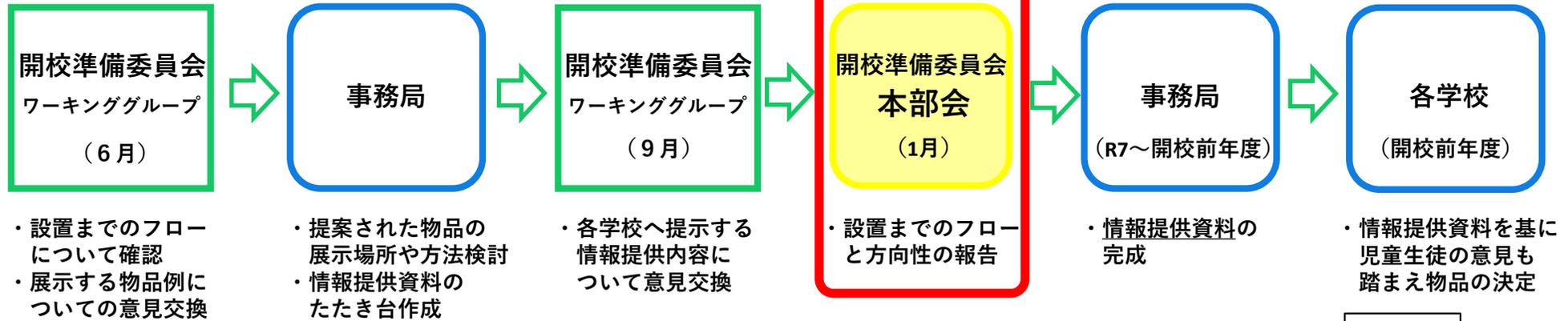
### 今後のワーキンググループの活動内容について

第1回、第2回のWGで、市内のさわやか相談室の運営や、S o l aる一むの先進的な事例について知ることができ、課題等を含めた意見交換をする中で、参加者の意識が更に高まっていった。

今後もこのような機会を提供するとともに、他自治体の事例を参考にし、開校に向け、発達段階に応じた、さわやか相談室及びS o l aる一む運営の仕組み等について協議していく予定。

## 2. (5) 校名・移行イベントより (レガシースペースについて)

### レガシースペース設置までのフロー



### 情報提供資料について

- レガシースペースに置くものを決める参考とするために開校前年度に児童生徒に配布する (右図)。
- 資料を参考に、児童生徒にアンケートなどを実施し、各校で置く物品を選定する。
- 元となる学校ごとに右図赤枠部分を変更する。

別紙1

**義務教育学校に今の学校の歴史を残すためのレガシースペースについて**

みなさんが通っている今の学校は、来年度から義務教育学校という新しい姿になります。地域の方々の声もあり、今の姿ではなくて新しい学校の歴史を、新しい義務教育学校に引き継げるような展示スペースを用意したいと考えています。最後の年に通う児童生徒のみなさんの力も借りて、よいコーナーにしたいと思います。

**<レガシースペースとは?>**

- 新しい義務教育学校に元の学校のよさを引き継げるよう、元の学校にあったものをレガシー(残し)するもの、遺産・伝統)として展示する場所です。
- 沼影校舎、内谷校舎、浦和大里校舎の3つすべてに設置されます。
- 各校舎の展示
  - 内谷校舎………内谷中学校のレガシー
  - 浦和大里校舎………浦和小学学校のレガシー
  - 沼影校舎………沼影小学学校のレガシー + 三校のレガシーをまとめたコーナー

**<各校舎のレガシースペースはどこになる?>**

- 校舎のレガシースペース予定場所
- ☆(参考) 大宮国際中等教育学校の展示 \*元の学校=大宮西高等学校のもの展示

**<校舎ごとに写真を変更>**

右のようなケースを  
左の場所に  
置いて展示  
する予定!

**<どんなレガシーを置いたらよい?>**

保護者や地域の団体の代表の方が集まる「開校準備委員会」で、どんなものを置いた方がよいか意見を話し合ってもらいました。その時に出したアイデアが以下のものです。これらを参考に、学校で話し合ってみてください。

- ☆三校まとめて沼影校舎に展示したらよいと思うもの
  - パネル資料-三校の歴史や、校舎の周りの地域の歴史をまとめた資料を預るとよいのでは。
  - 写真-三校の校舎や風景の写真など、見栄えがよくなるようにまとめるよいのでは。
  - 開校前年度の校舎の写真や動画を新しく撮影して、残すよいのでは。
  - 各校キャラクター-沼影小「ぬまびよん」の横に浦和大里小「さとぼん」の絵を置くのはどうか。
  - 周年の記念品-三校のもの全てを並べるとよいのでは。
- ☆それぞれの校舎のレガシースペースに展示したらよいと思うもの
  - 校舎の「旧」になる校舎が置かれたものや、校舎、校舎-元の学校ならではのものは元の校舎がよいのでは。
  - パネル資料-それぞれの校舎の歴史がわかるようにするとよいのでは。
  - 過去の風景写真-これまでの校舎の様子やわかるように残すとよいのでは。
  - 写真-各学年で行った活動のある活動の写真を残すとよいのでは。
  - 学校だより-これまでに発行してきたものの記録があるといのでは。
  - 展示している地域の団体のものも展示するとよいのでは。
- ☆その他の意見
  - 沼影校舎にまとめるか各校舎のどちらでも、開校前年度の生徒の皆さんの書き書きのようなものがあるといのでは、写真のスライドショーや映像を流すことを行ってもよいのでは。

ぜひ在校生のみなさんの思いを反映したレガシースペースにしてほしいと思います。みなさんと話し合っ、今の学校のよさがわかるようなレガシースペースを作り、新しい義務教育学校にそのよさを引き継ぎましょう!

<浦和大里小>



設置場所 (予定)

<沼影小>



<内谷中>



設置場所 (予定)

## 2. (5) 校名・移行イベントより (レガシースペースについて)

### ■ 新設沼影校舎のレガシースペースについて

- ・ 予定スペースのサイズ等



(画像は一例)  
(1200×450×1800)

レガシースペース  
設置可能箇所  
⇒ 最大で約9m  
○ ショーケースの  
幅別設置可能個数  
: 1200mm : 6個  
: 1800mm : 5個

⇒ 新設沼影校舎のレガシースペース設置予定  
範囲内に三校をまとめたコーナーは作成可能

- ・ 大きなサイズである沼影小のマスコットキャラクター「ぬまぴょん」も設置可能

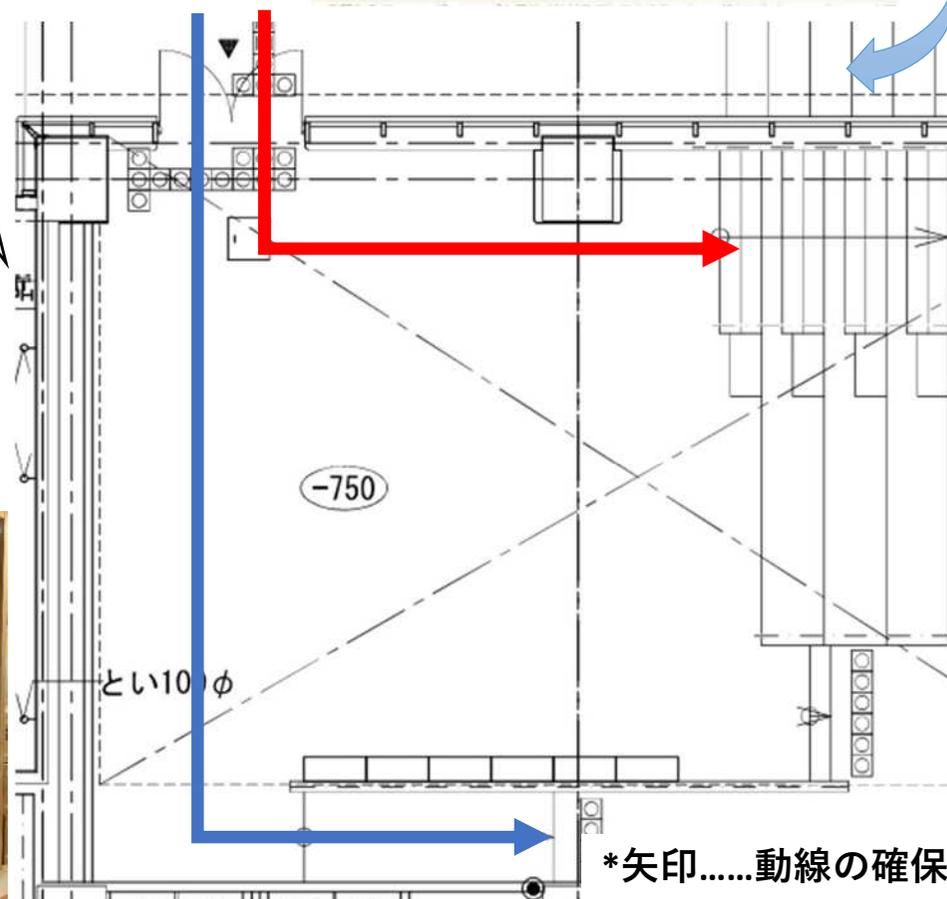
「ぬまぴょん」 ケース

: 寸法

幅165×奥行110×高さ237cm



[校舎外観]  
(イメージ)



# 3. その他 (1) 令和8・9年度の開校準備委員会組織と参加者構成スケジュールについて

ご応募  
お待ちしております

## 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備委員会 ワーキンググループの参加者（保護者）募集について



※沼影新設校舎のイメージ図



※開校準備委員会の様子

### 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備委員会とは

「武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備委員会」（以下、開校準備委員会）は、通学区域、学校行事、学校生活のきまりなど、義務教育学校の開校に向けた準備を、学校・家庭・地域・行政が連携・協働して進めるための組織です。全体を取りまとめる「本部会」と具体的な事項を調査・研究する「ワーキンググループ」で構成しています。

令和6・7年度は、推薦や公募により選出された延べ140名を超える参加者と様々な意見交換を行いました。

### 開校準備委員会のワーキンググループについて

新たに設置する義務教育学校について、下の表にある内容についてそれぞれ調査・研究するワーキンググループを再編します。各ワーキンググループでは、ワークショップ形式で、参加者による率直な意見を交換するため、参加希望の保護者を募集します。

	参加者の構成（学校・家庭・地域・その他）	主な調査研究予定事項
通学区域 ワーキング グループ	学 校：学校地域連携コーディネーター等（6校×1名） 家 庭：保護者（6校×1名） ※別途、PTA役員6校×1名が参加予定 地 域：自治会（関係4地区会×若干名）、青少年育成地区会（小学校5校×1名）	・通学路 ・通学方法 など
カリキュラム ワーキング グループ	学 校：教務主任等（6校×1名）、教員（内谷中・浦和大里小・沼影小・浦和別所小×1名） 家 庭：保護者（6校×1～2名） 地 域：青少年育成地区会（小学校5校×1名） その他：児童生徒（児童会・生徒会で話し合いやアンケートの実施を想定） 学識経験者（必要に応じ助言をいただく）	・学校行事 ・異学年交流 など
学校生活 ワーキング グループ	学 校：生徒指導主任等（6校×1名）、教育相談主任等（6校×1名） 教員（内谷中・浦和大里小・沼影小・浦和別所小×1名） 家 庭：保護者（6校×1～2名） その他：児童生徒（児童会・生徒会で話し合いやアンケートの実施を想定）	・学校生活のきまり ・Solar-1C ・さわやか相談室 など

※ 6校：浦和別所小学校・西浦和小学校・辻小学校・沼影小学校・浦和大里小学校、及び内谷中学校  
※ 上記の各ワーキンググループには、教育委員会の担当所管が事務局として参加します。  
※ 上記以外にも、学校（教職員）と学校運営協議会等の団体や教育委員会担当所管で構成するワーキンググループ（学校地域協働、保健室運営、給食室運営、学校事務運営）があります。



### ワーキンググループの参加者募集（詳細）

募集人数	① 通学区域ワーキンググループ（各校 保護者 1名） ※別途、各校PTA役員1名が参加予定 ② カリキュラムワーキンググループ（各校 保護者 1～2名） ③ 学校生活ワーキンググループ（各校 保護者 1～2名）
応募要件	令和8年3月31日時点で、次の要件を満たす方 ① 浦和別所小、西浦和小、辻小、沼影小、浦和大里小のいずれかに在籍する児童の保護者 または内谷中（1・2年生）に在籍する生徒の保護者 ② 平日日中の活動に参加可能な方
参加期間	令和8年4月から令和10年3月末まで ※転出等、やむを得ない事情がある場合は、この限りではありません。
開催時間帯・ 開催回数	・ワーキンググループは、教職員の参加に伴い、平日の日中（2時間程度）の活動を予定しています。 ・ワーキンググループの開催回数、及び日程は、各ワーキンググループの調査研究状況により異なります。（令和7年度の実施状況は概ね2～3か月に1回程度）
開催場所	武蔵浦和駅周辺の学校又は公共施設
報酬・ 交通費等	報酬はありません。 交通費・食費の支給はありません。
応募期間	令和8年1月19日（月）～2月13日（金） <b>応募締切：2月13日（金）16時必着</b>
応募方法	エントリーシートに必要事項を記入し、封筒に「開校準備委員会ワーキンググループの参加者エントリーシート在中」と明記の上、お子様の通う各学校教頭宛に直接御提出ください。  提出受付時間：平日9：00～16：00 ※お子様を通じての提出も可能です。直接の提出が難しい方は、学校へ御相談ください。
選出方法 （流れ）	●各学校が応募内容を確認し、趣旨に沿った方を選出します。 （現在小学6年生の保護者の方は、お子様の通う小学校にて選出します。）  ●応募多数の場合、第1希望者を対象に下記の①②を考慮し選出します。 ① 通学区域 （浦和別所小・西浦和小・辻小：指定校が内谷中となっている場所にお住いの方を優先） ② 児童生徒の在籍予定期間 （令和8・9年度に、各学校に在籍予定の児童生徒保護者を優先） ※①②を考慮してもなお学校が選出できない場合、学校による抽選を行います。  ●第1希望者で定員を充足しないワーキンググループにおいては、第2希望者を対象に上記と同様に選出します。第3希望以下についても同様とします。 なお、希望者がいない場合、応募者不在とみなしPTAによる団体推薦とします。
選出結果	令和8年3月下旬を目途に、選出された方のみ、各学校より連絡します。
その他	エントリーシートは、返却いたしませんので、御了承ください。 応募の際にいただいた個人情報は、参加者選出に関する事務以外の目的には使用しません。 参加者に選出された方の個人情報は、ワーキンググループの開催のため、教育委員会事務局に提供します。

・お問合せは、各学校までお願いします。  
・武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校開校準備委員会についてのホームページはこちら  
<https://www.city.saitama.lg.jp/003/002/001/p113816.html>



**本年度の本部会は  
これで終わりです。**

**2年間ご協力いただき、  
ありがとうございました。**